

本資料は、スペクトラム・アセット・マネジメント社が発表したレポート「Brexit Implications for UK and Continental European Banks」(2016年6月28日発表)を基に、プリンシパル・グローバル・インスターズ株式会社が翻訳したものです。

## 英国の欧州連合(EU)離脱(ブリクジット:Brexit)が 英国と大陸欧州の銀行に与える影響

2016年6月28日

### <英国の主要な銀行>

ブリクジットによる市場のボラティリティの高まりに対して耐性があるとみています。

- 英国の主要な銀行は、あらゆる金融商品において、英国国内のシェアの大部分を占めています。こうした国内市場における主導的な立場がゆえ、市場からのストレスには対応が出来ると見ています。また、資本市場が十分発達しているにも関わらず、実態は、依然として英銀は国内の金融仲介をリードする立場にあります。
- 世界各国に健全で多様なビジネス基盤を有しているため、収益源を多様化させることにより、英国に端を発するボラティリティから本業を隔離することが可能となります。
- 金融危機以降、資産の質の改善や訴訟問題の処理を相当程度進めると同時に、事業の縮小および見直しも行ってきました。従って、ブリクジットによる資産の質の低下を考慮しても、英国の主要行の財務状況は安定していると考えられます。
- 金融危機後は、銀行のリスク許容度がより厳しく管理されており、リスク管理システムも強化されています。一部は規制の強化によるものですが、一部は経営陣の経営方針の見直しによるものです。
- 金融危機開始以来、資本水準は大きく上昇しています。厳格な規制を考慮すると、当面、クレジットの基準が緩くなるとは考えにくいと思われます。

ブリクジットにより、一時的に英国の主要な銀行の収益力は低下し、英国全体のビジネス環境においてボラティリティが高まると考えられますが、当社では、英国の主要行は、これに持ち堪え、逆境を乗り越えることができるとみています。

### <大陸欧州の主要な銀行>

ブリクジットによる市場のボラティリティの高まりに対して耐性があるとみています。

- 英国内においては、英銀が市場シェアの大部分を占めているため、大陸欧州の銀行で英国内のエクスポージャーが高い銀行は多くありません。一方で、ロンドンに重要な資本市場の拠点を置く銀行は多くみられますが、ブリクジットの協議が進む中で、必要に応じて拠点を移すことも可能です。

- 欧州における国内の銀行システムは、集中度合いが高く、数えるほどの銀行が市場を席卷しています。昨今、統合などにより、こうした状況は進展しており、市場から受けるストレスを緩和することが可能になると考えます。加えて、欧州では、国内の資本市場が(英国と比較するとより)未熟であるため、主要な銀行が金融仲介において圧倒的な権限を有しています。
- 欧州の主要な銀行は、多様なビジネス基盤を有していますが、中でも一部の銀行ではとりわけ多様性が顕著となっています。英国の銀行と同様に、収益源を多様化させることにより、英国に端を発するボラティリティから本業を隔離することが可能となります。
- 英国の銀行と同様に、欧州の銀行も金融危機後はリスク許容度が厳しく管理されています。
- 欧州の主要な銀行は、金融危機開始以来、資本水準を大きく改善してきました。その水準は銀行によってまちまちですが、全体的な傾向は、定期的なストレステストで査定されている通り、資本は増強の一途を辿っています。したがって、重要となる銀行の信用力を支える柱がすぐに脆弱になるとは考えておりません。

当社では、大陸欧州の銀行は、ブリクジットに絡むリスクに対して、十分対応が可能な事業分散の効いたフランチャイズ組織であるとみています。したがって、ブリクジットを受けた収益や資本の圧縮がこれら銀行の基礎的な信用力を揺るがすものとはならないと考えています。

John Kriz

スペクトラム社 シニア・ヴァイス・プレジデント

Joe Urciuoli

スペクトラム社 マネージング・ディレクター

以上

## ■重要な情報

当資料は情報の提供のみを目的として作成されたものです。特定の有価証券の売買を勧誘・推奨するものではありません。当資料に掲載の情報は、弊社において信頼できると考える情報源に基づいて作成していますが、適用法令にて規定されるものを除き、弊社およびプリンシパル・ファイナンシャル・グループの関連会社は当資料中の情報・意見等の公正性、正確性、妥当性、完全性等を保証するものではありません。また、当資料中の意見および予測等は作成時における判断であり、予告なく変更されることがあります。当資料中の情報は、弊社の文書による事前の同意が無い限り、その全部又は一部をコピーすることや配布することは出来ません。なお、投資判断をする前には、その投資がお客様の投資目的、特定のニーズ、および財政状態にとって適切であるかをご検討いただくと同時に、弊社が提供します契約締結前書面等の内容をよくお読みいただき、お客様ご自身の判断と責任においてご決定していただく必要があります。

プリンシパル・グローバル・インベスターズ株式会社

東京都千代田区内幸町一丁目1番1号 帝国ホテルタワー

お問合せ先:営業部 03-3519-7880(代表)/pgij.marketing@principal.com

ホームページ:<http://www.principalglobal.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第462号

一般社団法人 日本投資顧問業協会会員番号:第011-01627号